

パブリックコメント手続制度による意見募集の結果公表

☎ 総務文書課 (☎62-1005) ID 1020456

提出された意見・提案の概要と市の考え方で主なものを公表します。提出された意見と市の考え方は、市HP、市役所情報コーナー、総務文書課、市民交流センター、各市民センター、各生涯学習センター、総合文化センター、各図書館、生きがいセンター、高齢者福祉センターひまわり、一ツ木福祉センターで見ることができます。意見・提案をいただき、ありがとうございました。

刈谷市非核平和都市宣言（案）

募集期間 3月1日～30日 提出件数 15件

意見

非核という言葉の定義を明確にし、市民で共有することが大事であると考えます。
例えば、核融合発電など、将来有望な技術用語の一部にも使われているため、核イコール反対ではミスリードする恐れがあるように思います。

市の考え方

「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改める一方、宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。

意見

日本は核保有国に囲まれており、世界は軍事力が強い国、特に核保有の有無が国の存亡などに大きく関わっています。そのような状況で、非現実的な宣言は市民や周辺自治体から笑われるのではないのでしょうか？単純に平和を願う、それだけでよいのではないのでしょうか？非核な宣言はぜひやめて欲しいと、一市民として強く思います。

市の考え方

「非核」という包含的な表現により本宣言の趣旨が正確に伝えられていなかったため、宣言名を「刈谷市平和都市宣言」と改めます。
一方、本市はこれまでも原爆パネル展の開催や平和資料の貸し出しなどを通じて、市民の皆さんに核兵器廃絶と恒久平和への意識が醸成され広がっていくように、平和行政に取り組んできました。
市制施行75年、戦後80年という節目の年に本宣言を制定し、あらためて核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを発信することで、市民の皆さんに「ふるさと刈谷」への愛着や誇りを持つ機会としていただけるものと考えています。

意見

宣言には、核兵器廃絶の願いをハッキリとうたう事が絶対に不可欠です。非核三原則を盛り込むことは当然のこととし、政府に対し「核兵器禁止条約」に署名し、批准することを求めるものとすべきです。

市の考え方

宣言文に「核兵器のない」、「核兵器の惨禍を忘れることなく」と明記することで、核兵器のない世界を願い、恒久平和を目指す本市の思いを示すという趣旨を明確にしたいと思います。
また、本宣言の趣旨から、国の政策などについて、本宣言の中で言及することは考えていません。

令和6年度 情報公開請求および個人情報開示請求の実施状況

☎ 総務文書課 (☎62-1005)

情報公開請求

請求件数 168件

公開・非公開の決定件数

請求件数	決定状況			取下げ
	全部公開	部分公開	非公開	
168	143	23	2	0

実施機関別の請求状況

実施機関		請求件数	実施機関		請求件数
内訳	市長(A)	157	都市政策部	都市政策部	3
	企画財政部	36		都市公園部	28
	総務部	2		水資源部	35
	市民活動部	2	教育委員会 (B)		10
	産業環境部	10	議会 (C)		1
	建設部	41	合計 (A+B+C)		168

審査請求の件数 0件

個人情報開示請求

請求件数 9件

開示・不開示の決定件数

請求件数	決定状況			取下げ
	全部開示	部分開示	不開示	
9	5	2	2	0

実施機関別の請求状況

実施機関		請求件数
内訳	市長	9
	市民活動部	5
	福祉健康部	4

審査請求の件数 0件